



# しののめYMCAこども園 園だより

2023年度 12月号

発行者:こども園園長 草分俊一

聖句 「互いに愛し合いなさい」  
わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。  
これがわたしの掟である。

12月聖句 ひとりの男の子がわたしたちに与えられた。

イザヤ書 9章 5節

朝夕の涼しさが寒さ変わってきました。冬の到来です。

園庭門のところで朝のご挨拶をしていると、紅葉した葉っぱや実を子どもたちからプレゼントされます。子どもたちからの秋の実りなどのプレゼントは神様からの恵みを感じます。短かった秋ですが、季節を感じる日々を嬉しく思います。

秋を感じる行事に「お芋掘り遠足」、「収穫感謝礼拝」がありました。お芋掘り遠足(10月27日)は年中組のみの遠足です。貸し切りバスで千葉県の上野実苑へ行ってきました。天候に恵まれ快晴の中、半袖シャツでお芋を掘りました。今年は恵み多き年で大きいお芋が揃っていました。とにかく子どもたちはがむしゃらに土を掘り、お芋の蔓やお芋を引っ張りますが、なかなかお芋は土から抜けません。そしてまた土を掘り、お芋を引っ張り・・・を繰り返して、やっとのことで大きなお芋を掘ることができました。掘り起こした時の子どもたちの顔は素敵な笑顔になりました。神様からの恵みを手に入れることができると、真剣な顔つきが笑顔になることを、私自身改めて実感することができました。

アドヴェントを迎え、こども園内の様子が少しずつ変わりました。時間も静かに流れているように思えます。そのような中、アドヴェントクランツに温かい灯りをともし、穏やかな喜びを分かち合いながら過ごしています。教室では枝と毛糸を使ってオーナメントを制作しています。自分の思い描く色の毛糸を選び、いろいろな色彩のオーナメントができあがります。

アドヴェントといういつもと少し違った雰囲気のあるこども園で、椅子に座りながらオーナメントをつくる静かな時の流れを大切にしつつ、すべての人を愛され、御子イエス様をこの世に贈ってくださった神様の愛を感じ、皆様と共に全ての子どもたちに愛を注ぎ、4本の灯りをともし神様の愛に包まれたクリスマスをお祝いしたいと願います。

園長 草分 俊一

